

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組1	市民総参加で子育て環境の充実
取組の目的	家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子供・子育てを応援します。
現状と課題	◎少子化や価値観の多様化、地域におけるつながりの希薄化などにより、子育て環境に大きな変化が生じており、家庭、地域、企業や行政が連携・協力して市民総参加で子育てを支え、応援できる仕組みの構築が必要である。 ◎核家族世帯の増加や女性の社会進出の進展に伴い保育需要は一層高くなり、認可保育所等の新設などで受入定員の拡大を図るものの、特に1・2歳児の入所申込者数にその定員の確保が追いついていないことにより、入所待機児童の解消に至っていないほか、幼児教育・保育の無償化が令和元年10月から開始されるため、幼稚園への入園児数は一層の減少が見込まれる。このことから、今後における幼稚園・保育所の在り方について、幼児教育・保育の無償化に伴うニーズの変化を捉えながら、民間の保育施設整備の支援や公立幼稚園の認定こども園化などを検討していく必要がある。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
—	合計特殊出生率[↑] ※(単独)政策指標	目標値	—	1.74	1.77	1.79	1.81	1.84	100.0%
		実績値	1.72 (H27仮定値)	1.69 (H27)	1.64 (H28)	1.79 (H29)			
1	保育所待機児童数[↓] (各年とも次年4月1日現在) (人)※(兼)政策指標	目標値	—	0	0	0	0	0	0.0%
		実績値	30	27	28	58			
2	放課後児童クラブの定員[↑] (人)	目標値	—	805	1,065	(新) 1,167 (旧) 1,065	(新) 1,247 (旧) 1,145	(新) 1,247 (旧) 1,145	100.0%
		実績値	805	835	1,101	1,167			
3	地域住民による子育て広場の実施箇所数[↑] (箇所)	目標値	—	2	2	3	3	4	66.7%
		実績値	1	2	2	2			
4	母親クラブ等子育て支援団体の数[↑](団体)	目標値	—	8	8	9	9	10	44.4%
		実績値	8	6	5	4			
5	保育コンシェルジュの人数[↑] (人)	目標値	—	2	2	2	2	3	100.0%
		実績値	1	1	1	2			
6	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数[↑] (事業所)※(兼)政策指標(政策6)	目標値	—	38	(新) 55 (旧) 41	(新) 60 (旧) 44	(新) 65 (旧) 47	(新) 70 (旧) 50	83.3%
		実績値	30	49	49	50			

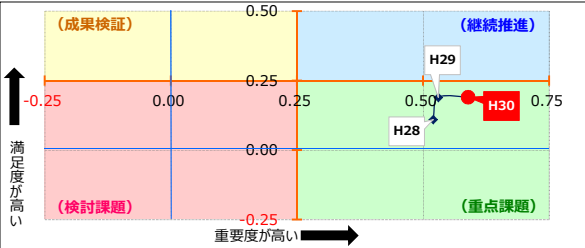
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市
1	保育所待機児童数(平成31年4月1日現在)(人)	58	5	21	0	0

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策1・取組1 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.52	0.53	0.59		
満足度	0.11	0.19	0.19		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績値	R1年度 予算値	R2年度 予算の方向性	

基本方針(1)子どもを産み育てる環境の整備推進

中央子育て支援センター運営事業	すこやか子ども課	36,651	38,703	維持	
中央子育て支援センター一時預かり事業	すこやか子ども課	4,568	4,568	維持	
ファミリーサポートセンター運営事業	すこやか子ども課	5,128	5,128	維持	
親子交流広場運営事業	すこやか子ども課	4,029	4,417	維持	

基本方針(2)子どもにとって良質な教育・保育の提供

民間保育所運営費補助事業	すこやか子ども課	1,424,017	1,583,322	維持	
公立認定こども園教育振興事業	すこやか子ども課	903	963	維持	
(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業	すこやか子ども課	0	0	拡充	◎

基本方針(3)すべての子どもの育ちを支える環境の整備

放課後児童クラブ運営事業	すこやか子ども課	139,647	157,418	拡充	◎
児童発達支援事業	育ちの森	14,248	23,339	維持	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	8,064	9,071	維持	
地域子育て支援システム運営事業	すこやか子ども課	780	750	維持	

基本方針(4)子育てと仕事の両立の支援

男女共同参画プラン推進事業【再掲6-3-(1)(2)】	協働まちづくり課	592	622	維持	

基本方針(5)子育て世帯の不安の解消

子ども医療費助成事業	しあわせ推進課	414,386	450,141	維持	
乳幼児健診事業	健康づくり課	21,977	24,086	維持	
家庭児童相談室運営事業【再掲6-3-(4)】	しあわせ推進課	3,681	3,697	維持	

基本方針(6)子どもの安全の確保

DV被害者宿泊施設借上事業	しあわせ推進課	13	32	維持	
虐待予防事業【2-1-(5)再掲】	健康づくり課	485	683	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎保育所等待機児童数については、その解消に向けて認可保育所の開設支援により受入定員を120人拡大したが、育児休業から復帰する時期にあたる1歳児の申込が増加する中、その定員確保が追いついていないため、前年よりも増加した。 ◎放課後児童クラブの定員については、小学校6年生までの受入対象学年の拡大や、共働き世帯の増加によるクラブ入所ニーズの高まりに伴い申込者が増加しており、施設整備を実施し受入拡大に努めた。 ◎地域住民による子育て広場の実施箇所数や母親クラブ等子育て支援団体の数は増加していないが、民設を含む子育て支援センターなど、安心して子どもを預ける環境がより充実したものと、社会における子育てを支える仕組みの充実が図られている。 ◎市民意識調査の結果では、重要度が上昇した。	H 30 の 評 価	C (一部に改善 を要する)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎待機児童解消のため、民間の認可保育所の施設整備を支援し、受入定員を120人拡大した。 ◎小規模保育施設等開設に向け、事業者等へ意向調査や助言等を実施した。 ◎(仮称)袋井南認定こども園整備に向け、建設地を決定し、地元住民等へ説明を行うとともに、関係法人への意向確認や情報交換を重ねる中で、平成31年2月市議会において、運営形態は一定の条件のもと民設民営で進めることが望ましいとの方針を示した。 ◎放課後児童クラブの受入児童拡大に向け、袋井東・袋井西小学校区の施設整備(定員150人)を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎待機児童解消に向け、幼児教育・保育の無償化を見据えた中で、今後の保護者ニーズを検証し、本市の幼児教育・保育の在り方について見直しを行い、既存公立幼稚園の認定こども園化等の検討を進めていく。また、民間認可保育所等への開設支援を引き続き実施する。 ◎放課後児童クラブの定員増に向け、長期休業における預かり要望に対し、学校教室の利活用など対応方法を検討する。また、常時における入所ニーズへの対応には、施設整備を含めた受入拡大方法を検討していく。 ◎地域と連携した子育て支援体制の整備に向け、まちづくり協議会の取組につながるよう、支援していく。		

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組2	未来に輝く若者の育成
取組の目的	国際社会や地域社会で活躍する、心ゆたかでたくましい若者を育てます。
現状と課題	◎多様化する社会の中、次代を担う子ども達が自ら考え生き抜く力を養うため、令和2年4月からの幼小中一貫教育の全面実施に向け、基礎学力の向上に向けた取組や英語教育及びICT教育を充実するなど、質の高い教育の提供が不可欠である。また、コミュニティ・スクールなどにより、地域や社会との連携・協働の下、独創性と創造性に富んだ人材の育成に取り組んでいるが、今後国庫補助等が終了予定のため、今後の運営の在り方などを検討する必要がある。 ◎外国人児童生徒の増加に伴い、日常生活をはじめ、学校生活や勉強にスムーズに取り組むことが出来る環境を整えるためにも、初期支援教育体制の整備、学校における学習支援、保護者支援の充実が必要である。また、いじめや不登校の未然防止にも取り組んでいくことが不可欠である。 ◎教育施設の多数が改修や更新が必要となっており、今後計画的に対策を講じていくことが必要である。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3) [↑](%)	目標値	—	83.5	85.0	86.5	88.0	90.0	90.1%
		実績値	80.0	81.2	77.3	77.9			
2	全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3) [↑](%)※(兼)政策指標	目標値	—	75.0	75.0	87.5	87.5	100.0	0.0%
		実績値	50.0	100.0	12.5	0.0			
3	新体力テストで全国平均を上回る種目の割合(小5・中2) [↑](%)	目標値	—	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	47.2%
		実績値	78.0	52.0	40.6	40.6			
4	教育施設大規模改修等の実施(施設数) [↑](箇所)	目標値	—	2	2	(新) (旧) 2	(新) (旧) 2	(新) (旧) 2	100.0%
		実績値	1	2	2	2			
5	学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベース) [↑](%)	目標値	—	33.5	37.0	(新) (旧) 30.0	(新) (旧) 30.0	(新) (旧) 30.0	100.0%
		実績値	24.1	27.6	27.9	34.2			
		目標値							
		実績値							

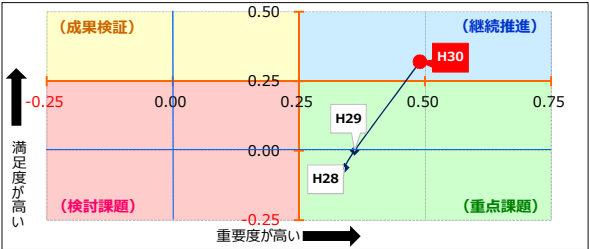
2. 県内他市との比較

番号	指標名						
1							
2							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策1・取組2 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.34	0.36	0.49		
満足度	-0.06	0.00	0.32		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績値	R1年度 予算値	R2年度 予算の方向性	

基本方針(1)ゆたかな心を育む教育の推進

小中学校英語力向上事業	学校教育課	41,096	44,691	維持	◎
-------------	-------	--------	--------	----	---

基本方針(2)確かな学力を育む教育の推進

学力向上対策事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,465	18,072	維持	
未来の教育実証研究事業	学校教育課	3,500	5,000	維持	
幼小中一貫教育推進事業	教育企画係	428	662	拡充	◎

基本方針(3)健やかでたくましい体を育む教育の推進

おいしい給食推進事業【4-3-(4)再掲】	おいしい給食課	321,121	322,581	維持	
健康診断事業(小学校・中学校)	学校教育課	7,517	7,933	維持	

基本方針(4)子ども一人ひとりを大切に支援の充実

特別支援教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	48,019	57,515	維持	
外国人児童生徒サポート事業	学校教育課	11,886	15,446	拡充	◎
いじめ・不登校等未然防止事業(小学校・中)	学校教育課	10,355	10,554	維持	
小中連携サポート事業	学校教育課	4,270	8,975	拡充	◎

基本方針(5)地域とともにある学校づくりの推進

学校支援地域本部事業	学校教育課	1,198	757	維持	
コミュニティ・スクール推進体制構築事業	学校教育課	765	1,378	拡充	

基本方針(6)質の高い教育環境の整備

小学校施設維持管理事業	教育企画課	92,644	113,232	拡充	
中学校施設維持管理事業	教育企画課	67,848	93,603	拡充	
学校給食センター整備事業	おいしい給食課	9,526	48,782	拡充	◎
浅羽中学校施設整備事業	教育企画課	27,044	76,118	拡充	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合については、前年とほぼ同数であった。そのため、小学校では中学校の出口の姿を意識したキャリア教育の実践を、中学では、15歳の出口から将来のビジョンを描くことができる進路指導を大切に進めていく。 ◎全国学力・学習状況調査の結果は、様々な対策を進めてきたものの、全教科が全国正答率を下回る結果となったため、今回の結果を分析し対策へ活かしていく。 ◎新体力テストの結果は、小学生が全国平均を下回る中、中学生は授業における体力づくりや運動部活動の取組により、多くの種目で全国平均を上回った。 ◎学校給食における市内産野菜の使用率については、文部科学省委託事業を活用し、規格外作物の活用が可能な検証などに取り組んだことで、率の上昇につながった。 ◎幼小中一貫教育全面実施に向けて、学園ごとの幼小中一貫教育プログラムの作成を進めるとともに、基礎学力の向上や英語教育、ICT教育の推進に引き続き取り組んだことにより、重要度及び満足度のいずれも大幅に上昇した。	H 30 の 評 価 B (概ね順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎幼小中一貫教育の全面実施に向け、市内4学園ごとに幼小中一貫教育プログラムの作成を進めた。 ◎子ども達個人の資質・能力に応じた学力向上に向け、三川小及び今井小において、ICT機器等の活用による新たな学習モデル実証研究を実施した。 ◎教育施設等の今後20年間における施設整備方針として、「袋井市教育施設等3Rプロジェクト」を策定した。 ◎学力向上に向けた授業改善や全国学力・学習状況調査の結果向上に向け、4・5年生段階の学力に関する課題把握を目的として、袋井版学力・学習状況調査を実施した。 ◎文部科学省委託事業により、「地産地消」「食品ロスの解消」をテーマに、規格外野菜の活用に取り組んだ。	
III. 今後の展開方向	◎「自立力」と「社会力」を備えた子どもを育成するために、幼児期の教育・保育から小中学校までの教育の連携を強化する幼小中一貫教育を推進していく。 ◎体力向上では、小学校において遊びを通した運動習慣の育成に取り組むことに加え、市内学校全体として計画的な体力づくりに引き続き取り組む。 ◎教育施設の老朽化対策では、「袋井市教育施設等3Rプロジェクト」による施設整備方針の下、財政負担の平準化を図りながら、計画的な長寿命化対策等に取り組む。 ◎安心安全な学校給食の提供に向け、市内産野菜を積極的に活用していくほか、令和2年4月から袋井学校給食センター調理業務を民間委託に移行する。	

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組3	教養豊かな人づくり
取組の目的	人や社会に貢献する人づくりを推進するとともに、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。
現状と課題	◎核家族化の進行やインターネットの普及などにより、地域コミュニティや人とのつながりが希薄化する中、生涯にわたり、新たな学びや体験を通じて、人や地域、社会とのつながりを深め、地域社会全体の活性化や発展に繋げていくことが必要である。また、家庭、学校、地域、関係団体等が連携し、地域や社会全体で多彩で魅力的な学びの場の創出が求められている。 ◎図書館については、所蔵資料の充実に加え、紙とデジタル資料の効率的な組み合わせにより、利用者のニーズに応じた資料提供を行っていることが不可欠である。また、貸出・閲覧だけでなく、交流創出の場として機能していく必要がある。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	徳育推進協働事業への参加者数 [↑](人/年)	目標値	—	800	(新) 4,000 (旧) 850	(新) 4,000 (旧) 900	(新) 4,000 (旧) 950	(新) 4,000 (旧) 1,000	100.0%
		実績値	420	3,733	1,316	4,196			
2	公民館の利用者数 [↑](人/年)	目標値	—	360,000	365,000	コミュニティセンター化に伴い、H30年度の評価から、政策6取組1へ移行(指標値変更)			
		実績値	351,042	341,312	351,779				
3	月見の里学遊館(水玉プール除く)とメロープラザの利用者数[↑] (人/年)	目標値	—	180,000	185,000	190,000	195,000	200,000	83.0%
		実績値	169,643	155,186	168,758	157,744			
4	図書館の資料貸出点数[↑] (点/年)	目標値	—	560,000	570,000	575,000	583,000	592,000	91.5%
		実績値	531,652	528,412	522,564	525,829			
5	図書館の個人貸出利用者数[↑] (人/年)	目標値	—	131,000	135,000	140,000	145,000	150,000	97.6%
		実績値	124,920	130,201	132,514	136,631			
		目標値							
		実績値							

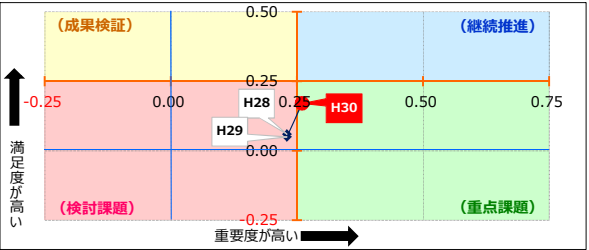
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県
1	図書館の資料貸出点数(人口1,000人当たり) (点)「平成30年度静岡県図書館」(H29実績)	5,942	6,828	7,319	6,609	4,949	5,770
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策1・取組3 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.23	0.23	0.26		
満足度	0.06	0.05	0.17		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績値	R1年度 予算値	R2年度 予算の方向性	

基本方針(1)徳育の推進

徳育推進事業	生涯学習課	26	0	維持	

基本方針(2)生涯学習活動の充実

社会教育振興事業	生涯学習課	8,199	6,740	維持	
大学を活かしたまちづくり事業	生涯学習課	3,794	3,434	維持	
青少年育成事業指導者養成事業	生涯学習課	200	200	維持	

基本方針(3)社会全体が連携した青少年健全育成の推進

少年補導センター運営事業	生涯学習課	313	231	維持	
青少年育成事業	生涯学習課	3,402	3,190	維持	◎

基本方針(4)図書館機能の充実と読書活動の推進

図書館蔵書充実事業	生涯学習課	25,426	23,570	維持	
図書館運営事業	生涯学習課	23,265	21,124	維持	
ブックスタート事業	生涯学習課	3,841	1,974	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎徳育推進協働事業への参加者数については、コミュニティセンターにおいて青少年健全育成事業や家庭教育学級などの活動に加え、文化協会や企業などの徳育推進協力団体の活動が定着してきたことにより増加した。 ◎月見の里学遊館(水玉プール除く)とメロープラザの利用者数については、当該施設を利用する団体の構成人数が減少したことに伴い、利用者総数の減につながった。 ◎貸出点数及び個人貸出利用者数については、中高生向け資料コーナーの充実や視聴覚室の開放、飲食スペースの確保など、特定の年齢層に向けた資料の充実や、利用しやすい環境整備に努めたことから、目標数には達しなかったが、増加に転じている。 ◎市民意識調査の結果では、満足度及び重要度のいずれも上昇した。	H30 の評価	B (概ね順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎徳育の推進に向け、コミュニティセンターで青少年健全育成事業や家庭教育学級活動を実施した。 ◎地域活性化を担う地域リーダー育成に向け、組織運営や体験活動に必要な知識・技術を学ぶ次世代リーダー育成塾を開催した。また、静岡理科大学と連携し、一般市民を対象とした公開講座や市民体験入学を実施した。 ◎図書館の利活用推進に向け、袋井図書館・月見分室・浅羽図書館が連携して図書・雑誌・視聴覚資料などの多様な情報を提供し、市民の課題解決に役立つ図書館サービスを提供した。		
III. 今後の展開方向	◎徳育の推進に向け、引き続き団体や事業者と協働で取組を進めていく。また、地域の将来を担う若手リーダーの育成に取り組む、地域活性化に必要なスキルや知識を有する地域人材の発掘や地域団体とのネットワーク構築を図っていく。 ◎文化団体や市民の芸術・文化活動の活性化を図るため、県や市文化協会、本市出身の芸術家、市内企業等と連携して、文化芸術イベントを開催する。 ◎ICTの推進に伴い、電子図書館の導入を検討するとともに、図書館が所蔵する資料や情報を活用して、新たな知のネットワークを創造するなど、図書館が持つ潜在価値の積極的な利活用を検討していく。		